

Fateシリーズの歴史とFGOを巡る主な出来事

年	出来事
2004	パソコンゲーム「Fate/stay night」発売
2006	TVアニメ「Fate/stay night」放送開始
2010	小説「Fate/Zero」発売
2014	家庭用ゲーム「Fate/EXTRA」発売
2015	TVアニメ「Fate/stay night [Unlimited Blade Works]」放送開始
2015	7月30日 スマホゲーム 「Fate/Grand Order」リリース
2016	7月30日 イベント FGO夏祭り2016 in秋葉原開催 1周年記念イベント。翌年からは「FGO Fes.」として毎年開催
2016	11月10日 家庭用ゲーム 「Fate/EXTELLA」発売
2017	2月24日 1.5部配信開始 物語の筋編にあたるシナリオ。12月まで全4章が配信
2017	7月1日 TVアニメ 「Fate/Apocrypha」放送開始
2017	7月14日 舞台 「Fate/Grand Order THE STAGE-神聖円卓領域キャメロット-」公演 第一部 第六章を舞台化
2017	9月20日 1000万ダウンロード突破 人気サーヴァント「マーリン」が復刻。「マーリン」がTwitterトレンド1位に
2017	10月14日 劇場アニメ 「Fate/stay night [Heaven's Feel]」第一章公開
2018	4月4日 第2部 第1章配信開始 異なる人類の歴史「異聞帯」を巡る物語が開始
2018	7月26日 アーケードゲーム 「Fate/Grand Order Arcade」稼働開始 サーヴァントが描かれたカードが人気
2019	1月12日 劇場アニメ 「Fate/stay night [Heaven's Feel]」第二章公開
2019	10月5日 TVアニメ 「Fate/Grand Order -絶対魔獣戦線バビロニア-」放送開始
2020	12月20日 イベント 「TYPE-MOON展 Fate/stay night -15年の軌跡-」開催
2020	12月26日 #FGOがTwitterトレンド大賞エンタメ部門賞に
2020	4月25日 2000万ダウンロード突破
2020	5月4日 新聞広告 5周年記念シリーズ広告「under the same sky」掲載開始 全都道府県の新聞紙面にサーヴァントが登場
2020	7月30日 リリース5周年

ENTRANCE

Info

ようこそ! FGOの世界へ

2015年に配信され、今や2000万ダウンロードを超える人気タイトルとなったFGO。ここではゲームの仕組みやあらすじ、「Fateシリーズ」を知る上で欠かせない「サーヴァント」などの基礎知識について紹介する。まずはここから、FGOの世界をのぞいてみよう。

「FGO」と、「Fate/Grand Order」は2015年にリリースされた、スマートフォン向けロールプレイングゲーム(RPG)だ。「Fateシリーズ」と呼ばれる作品群の一つで、シリーズでは、ゲーム、アニメ、小説、舞台など多数のメディアミックスが展開されている。

RPGとは、架空の物語を舞台に、プレイヤーが主人公などの役割(ロール)を演じ(プレイ)、成長していくゲームのこと。同じジャンルでは「ドラゴンクエスト」「ポケットモンスター」シリーズがよく知られている。FGOでは、プレイヤーが主人公となり、歴史上の偉人や伝説・神話上の英雄をモデルにした「サーヴァント」と呼ばれる存在と力を合わせ、人類の危機を救うための冒険や試練に挑む。簡単に言うと「仲間を集め強くし、敵と戦いながら、物語を読み進めていくゲーム」だ。

人類の未来を取り戻す旅へ

まず、艦船にFGOのシナリオを確認しておこう。

物語の舞台は「カルデア」^{※9}という組織。そこでは科学や魔術を駆使して様々な研究を行い、人類史の「観測」を行っていた。ところが2015年のある日、100年先までを観測していた未来が突如消失し、2017年で人類は滅びてしまうこと

が証明されてしまう。その原因は、人類の過去の歴史で異常が発生したこと。産業革命や百年戦争、大航海時代など、これまで積み重ねられた歴史上の出来事が、何者かによって書き換えられたようだ。カルデアは人類の消滅を防ぐべく、世界中から集められた魔術師「マスター」の候補生たちを過去へ送り込もうとするが、施設内の爆発事故に巻き込まれ、全滅する事態となる。この中で唯一無事だったのがカルデアのマスター候補になったばかりの人物——プレイヤーが扮するこの物語の主人公だ。

正しい歴史を取り戻さなければ、1年半後に人類は消滅してしまう。新人マスターとなった主人公は、カルデアの少女「マシュ・キリエライト」とともに、歴史の異常が起った過去の時代「特異点」^{※10}へ旅立つことになる。

ゲームは、小説のように物語を読みながら、その間に敵やサーヴァントとのバトルが挟まれる形で進んでいく。人類の存亡をかけた戦いが、500万字を超えるシナリオで展開されるのが最大の魅力だ。

戦闘では、1度に3騎までのサーヴァントを戦わせ、敵の体力をゼロにすることを目指す。攻撃は、3種類の「コマンドカード」を選んでサーヴァントに指示するだけ。直感的で分かりやすいが、サーヴァントごとに特徴が異なるため、どのサーヴァントにどの順番で攻撃を指示するかが鍵を握る。戦闘を有利に進めるスキルや必殺技などもあるため、簡単だが奥深い作りになっている。

物語を彩る「サーヴァント」たち

次々と登場する多彩なサーヴァントも、FGOの人気の大きな一因だ。

サーヴァントとは、歴史上の偉人や、神話・伝承に語り継がれる人物たちが「英靈」となって蘇ったキャラクターのこと。「アルトリア・ペンドラゴン(アーサー王)」や「ジャンヌ・ダルク」、「宮本武蔵」など、モデルとなった人物は幅広く、その数は270以上にも上る。主人公はサーヴァントとともに特異点をめぐり、現地のサーヴァントと戦ったり、協力したりしながら、歴史の異常を修正していくことになる。

サーヴァントは「クラス」と呼ばれる基本的に7つの属性に振り分けられ、それぞれのクラスや扱う武器、「宝具」^{※11}と呼ばれる必殺技は、モデルになった英雄のエピソードに由来することが多い。例えば、剣術が得意だったアルトリアのクラスは剣士の英靈「セイバー」で、宝具はアーサー王伝説に登場する聖なる剣「エクスカリバー」になっている。

ただ、姿形は生前のそれとは異なる場合もあり、時には性別や形さえも変わることもある。「レオナルド・ダ・ヴィンチ」や宮本武蔵の外見は女性に、そして「エジソン」は獅子頭のスーパーマンのような見た目をしている。「あの偉人がこんな姿に！」という驚きの一方、物語では、サーヴァントとしての語りや英雄だった記憶、生前の後悔などが複雑に織かれている。サーヴァントから歴史やドラマに思いをはせることが出来るのも、FGOの魅力の一つだろう。

マスター(魔術師)である主人公は、そんなサーヴァント(使い魔)たちを「召喚」し、従えることができる。どのサーヴァントを召喚できるかは基本的に運次第だが、気に入ったサーヴァントや、見た目や性格が好みのサーヴァントを召喚できたときの喜びは大きい。まずは、お気に入りのサーヴァントを見つけよう。

ゲーム本編は、現在第2部の第5章まで公開されている。第1部の第一章から順にプレイでき、その章をクリアすることで次の章が読める仕組みだ。第1部と第2部の間には、1.5部があるほか、限られた時期だけ楽しめる物語「期間限定イベント」が定期的に配信される。本編の物語は完結が明言されており、どのようなクライマックスを迎えるか、注目が集まっている。